

Web ライティング「ポーカー」

制作：mantoru

今回は、初心者が、この記事を見れば、すぐにポーカーを始めることができるように、解説をしていこうと思います。

カジノ等で、実践運用する方の為には書いておりませんので、敢えて詳細かつ難しい説明は省かせて頂いております。

では、よろしく願い致します。

① ポーカーの歴史起源

ポーカーの起源については、他のテーブルゲームと同様、様々な説がありますが、今回は、現在、通説とされることの多い歴史を紹介致します。

起源：ペルシアの**アース・ナース**というゲーム

↓

1850 年代 現在の日本でも使われることの多いポーカーのルール（**ドローポーカー**）が誕生

↓

1860 年代 アメリカの家庭用に、**ファイブ・カード・スタッド**（**・ポーカー**）が誕生、及び流布するようなる

↓

1930 年代 **セブン・カード・スタッド**（**・ポーカー**）が流布

↓

1900 年代後半 そして、カジノの本場である米国において現在、多くの人口がプレイしているルール（**テキサスホールデムポーカー**）が醸成されるに至る。

それでは、それぞれ解説していこうと思います。

現在の通説では、ポーカーの起源は、ペルシアの**アース・ナース**というゲームであると言われています。

アース・ナースのルールは多少現在のポーカーとは差異があるものの、大凡似通っていることから、この説が支持されています。

ふと思ったのですが、この**アース・ナース**という名前。

ペルシアの付近にあるインドでの現在の宗教は、ヒンドゥー教ですが、昔は**バラモン教**という名前でした。

そして、バラモン教において、**アースティカ**、**ナースティカ**、という、正統と異端を区別する用語が存在するのです。

バラモン教といえば**カースト制度**（**バラモン**、**クシャトリア**、**ヴァイシャ**、**シュードラ**）ですよね。

何か関係があるのでしょうか……という一つの説を、ここで挟んでおきます。

Web ライティング「ポーカー」

制作：mantoru

そして、1850年代、現在の日本でも使われることの多いポーカーのルールが誕生します。

これは**ドローポーカー**と言われるルールとなっています。詳しいルールに関しては、後半にて解説しています。

次に、**ファイブカードスタッドポーカー**です。

これは後述する**テキサスホールデム**とは多少の差異がありますが、最初に一枚のカードを、伏せた状態でもらい、ターンが進むごとに表向きにカードが配られるというルールとなっています。

現在のアメリカ等のカジノでは、主に**テキサスホールデム**が使われている為、この**ファイブスタッドポーカー**は行われていません。

次に紹介する、**セブンカードスタッドポーカー**は、**テキサスホールデム**が生まれる前までは、世界中で最もプレイ人口が多かったルールとなります。現在のアメリカカジノでも、一部では行われているルールとなっています。

そして最後に、現在世界中で最もプレイ人口の多いルール、つまりはカジノで主に使われるルールである**テキサスホールデム**が出来ました。このルールについて、以下で解説していきます。

② ポーカーの基本ルール及び流れ

現在、世界で一番プレイしている人口が多いルールである、**テキサスホールデム**のルール説明をしていきます。これは、現在日本で行われるポーカーのルールとは違うものです。

まず、通常のトランプゲームと似たように、52枚のトランプカードを用いて、行います。

そして、ゲームが始まると、プレイヤーには、それぞれ2枚ずつのカードが伏せた状態で、配られます。(遊戯王で言えば、トラップカードの置き方と同じです。)

ゲームマスター(カジノではディーラーと言い、家庭用であれば、誰でも良い)は、場に5枚のカードを表向きに出します。

各プレイヤーは、その5枚のカードと、自身の持っているカードを用いて、最初は戦う、と

Web ライティング「ポーカー」

制作：mantoru

いうイメージを持って貰えれば、まずは、大丈夫です。

5枚のカードを表向き、と一括に言いましたが、当然、順序が存在します。それを解説します。

では、詳細な流れを説明します。(チップは省略します。)

1→2枚のカードが、伏せた状態で配られます。

2→ディーラーは、場に3枚のカードを表向きに出します。

3→ディーラーは、もう1枚のカードを表向きに出します。

4→ディーラーは、最後の1枚を表向きに出します。

この手順全てで、カジノでは賭け(チップ)、降りることができます。

最後に、手札を公開し、自分の役を言うことで、ゲームは終了です。

役解説は、後述致します。

初心者用への説明、ということで、テキサスホールデムはものすごく深いゲームですが、この基本的なルールを覚えていただければ、すぐにプレイできると思いますので、ここでルール解説は終了とさせていただきます。

③ ポーカーの役について

弱い順に紹介していきます。

〈ワンペア〉

同じ数字のカードが、二枚揃った状態のことを言います。

逆に言えば、他の三枚は、全てバラバラのカードとなります。

ポーカーの基本として、数字の強さを覚えておく必要があります。

2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 A

←	→
---	---

左にいけばいくほど数字は弱く、右に行けばいくほど、強くなります。

例えば、2のワンペアと、Aのワンペアでは、Aのワンペアのほうが強い、ということになりますね。

〈ツーペア〉

同じ数字のカードが二枚ずつ揃った状態のことを言います。

2 2 3 3 4

という5枚のカードを持った状態であれば、2と3のツーペア(ツーペアの中では一番弱い)になります。

ここで一つ補足しておく、どんなワンペアよりも、ツーペアの方が強いということです。

Web ライティング「ポーカー」

制作：mantoru

ワンペア最強の A のワンペアと、上で上げたツーペア最弱の 2 と 3 のツーペアだと、後者の方が強いということです。

これは基本的な事項ですが、非常に重要になります。

〈スリーカード〉

同じ数字のカードが 3 枚揃った状態のことをいいます。

このスリーカードも、前述したように、どのツーペアよりも強い役となります。

ここでもやはり、A のスリーペアが最強となります。

〈ストレート〉

スーツの種類（ダイヤ、クローバー、ハート、スペード）に関係なく、5 枚のカードが連続している役になります。

例えば、5 6 7 8 9 という持ち札において、スーツがバラバラである場合は、このストレートとなります。

ここで大事なものは、A と 2 はつながらない、ということです。

〈フラッシュ〉

同じスーツの種類を持ったカードが、手持ち 5 枚のカード全てに揃っている場合は、数字に関係なく、フラッシュになります。意外かもしれませんが、このフラッシュ、ストレートよりも強い役となっています。

〈フルハウス〉

同じ数字のカード二枚と、同じ数字のカード三枚で、五枚の手札が埋め尽くされている場合は、このフルハウスです。

例えば、22255 という手札は、スーツの種類に関係なく、この役となっています。

〈フォーカード〉

同じ数字のカードが四枚、つまりは全スーツを集めたものとなっています。

〈ストレート・フラッシュ〉

ここからは、かなり揃えるのが難しい分、非常に強い役となっています。

このストレートフラッシュは、同じスーツが揃っている、かつ、数字が連続している、つまりはストレートとフラッシュが同時に起こった状態のことをいいます。

例えば、2 3 4 5 6 で全てがハートである場合は、このストレート・フラッシュとなっています。

Web ライティング「ポーカー」

制作：mantoru

〈ロイヤル・ストレート・フラッシュ〉

そして、最後の役。つまりは、このポーカーにおける**最強の役**です。

ロイヤルという名前からも、かなり高貴な役であることが伺えると思います。

これは、前述したストレート・フラッシュにおいて、手札が、Aからの数字の連続である場合、言い換えると、ストレートフラッシュにおける最強の役が、このロイヤル・ストレート・フラッシュとなります。

10 11 12 13 A という手札で、かつ、全てがスペード、クローバー、ダイヤ、ハートのいずれかで揃っている場合です。

ジョーカー抜きでこの役を揃えるのは、非常に困難なのは言うまでもありません。

④ ポーカーの攻略法

初心者の方にとっては、**ポーカーは、ほとんどが運**となります。

しかし、この**テキサスホールデム**は降りる、という選択肢がありますので、思案することで、勝利に近づく方法はあります。

特に、プロのギャンブラーの方はそれ以外も含めた、全体的な戦術が非常に巧いので紹介したいところですが、初心者の方には難しいと思いますので、省略致します。

家庭用のルールである、**ドローポーカー**においても、運要素は多分に含んでいるものの、どう立ち回ったら良いかどうか、どのカードを捨てた方がよいかどうかを知るためには、そのルール紹介も必要だと思いますので、後述します。

⑤ ポーカーの種類

現在では、ポーカーは、主に三種類に大別できます。

- ・スタッドポーカー
- ・ドローポーカー
- ・フロップポーカー

の3つです。では、それぞれを解説していきます。

〈スタッドポーカー〉

これは、前刻で紹介しました、**ファイブスタッドポーカー**や、**セブンスタッドポーカー**です。

テキサスホールデムとは多少の差異がありますが、最初に一枚のカードを、伏せた状態で

Web ライティング「ポーカー」

制作：mantoru

もらい、ターンが進むごとに表向きにカードが配られるというルールとなっています。

〈ドローポーカー〉

このドローポーカーは、おそらく日本で家庭的に行われることの一番多いルールです。

この記事を読んでくださっている方も、このルールなら知っているかもしれません。

まず最初に、5枚のカードが、プレイヤーにのみ見える形で、配られます。

次に、プレイヤーは、オプションとして、自分のカードを好きな数交換することができます。

ここで、カードが悪すぎるから5枚全てを交換することで賭けをしたり、逆にカードが良いから交換を行わなかったり、と、ここは戦略が分かれるところとなっております。

百聞は一見にしかず、百見は一ゲームに如かず、です。

皆様も、ぜひ、この簡単なルールで遊んでみてください。

〈フロップポーカー〉

フロップポーカーは、私が先程紹介致しました、**テキサスホールデムを含む**、コミュニティカードポーカーと呼ばれる、主にカジノで運用されるルールとなっております。（もちろん、家庭で行うことも可能です。）

・テキサスホールデム

1→2枚のカードが、伏せた状態で配られます。

2→ディーラーは、場に3枚のカードを表向きに出します。

3→ディーラーは、もう1枚のカードを表向きに出します。

4→ディーラーは、最後の1枚を表向きに出します。

この手順全てで、カジノでは賭け（チップ）、降りることができます。

最後に、手札を公開し、自分の役を言うことで、ゲームは終了です。

・オハマ・ホールデム

・パイナップル

・クレイジーパイナップル

Web ライティング「ポーカー」

制作：mantoru

- ・ウォーターメロン
- ・レットイトライド

などなど……。

カジノで運用するために書いてはおりませんので、紹介するのはテキサスホールデムのみとさせていただきます。

〈まとめ〉

どうだったでしょうか。

ポーカーの軽い歴史から、様々な存在するルールを、少しでも理解して頂けたのなら、恐悦至極でございます。

当方と致しましては、ぜひ、家庭用のドロポーカーから初めて、次に、ゲームショップ等でセットを購入して、テキサスホールデムもやってほしいと思います。

では、今回はありがとうございました。